

平成29年6月亀岡市議会定例会一般質問

亀岡市議会

## 平成29年6月亀岡市議会定例会 一般質問順序予定表

開催日及び開始予定時間		質問者			質問方式	
6月13日(火)	10:00～	個人	1	木曾 利廣	一問一答	
	10:45～		2	馬場 隆	一問一答	
	11:30～		3	藤本 弘	一問一答	
	休憩					
	13:15～		4	小松 康之	一問一答	
	14:00～		5	平本 英久	一問一答	
	14:45～		6	並河 愛子	一問一答	
6月14日(水)	10:00～	個人	7	山本由美子	一問一答	
	10:45～		8	奥野 正三	一問一答	
	11:30～		9	竹田 幸生	一問一答	
	休憩					
	13:15～		10	田中 豊	一問一答	
	14:00～		11	富谷加都子	一問一答	
	休憩					
	15:00～		12	小川 克己	一問一答	
15:45～	13	三上 泉	一問一答			
6月15日(木)	10:00～	個人	14	齊藤 一義	一問一答	
	10:45～		15	石野 善司	一問一答	
	11:30～		16	奥村 泰幸	一括	
	休憩					
	13:15～		17	福井 英昭	一問一答	
	14:00～		18	酒井安紀子	一問一答	

### 【注意】

質問者の日程については予定であり、議事の進行により変更する場合があります。ご了承ください。



		<p>4 学校規模適正化について</p> <p>5 防災対策について</p>	<p>現在、学校規模適正化の取組みが市内各地で教育委員会の主導により進められているが、該当する地域での説明会において不満が出ている。このままでは学校・保護者・地域の混乱を招くと考えるが、教育委員会の基本的な考えを整理して、再度当該地域に理解を求める考えについて問う。</p> <p>(1) 一方的な(地域によっては)通学変更ありきではなく、期間を決めず、まずは実施する必要性を説明して、それぞれの地域事情や学校の考え方など、今までの経過を理解した上で最善策を提言すべきと考えるが、教育委員会の考えは。</p> <p>(2) 安心安全の通学路確保を心配する保護者もおられる。教育委員会の通学路の安全対策について、各学校の通学路ごとに考えを示すべきと考えるがどうか。</p> <p>阪神・淡路大震災、東日本大震災、新潟中越地震及び熊本地震の教訓から本市の防災対策を検討する必要がある。今日、東南海・南海地震や内陸型地震が、いつ、どこで発生するか予測できない状況にあり、また、異常気象による風水害の多発も心配されることから、避難所の耐震化や老朽化による建替えの対策が必要であると考え、本市としての対策を尋ねる。</p> <p>(1) 地震や水害等の災害が発生したら、まず状況を判断して、一時避難所に指定されていてもいなくても、近くの集会所に避難すると考えられる。しかし、集会所が老朽化している場合の対策として、改修・新築の補助金制度が地域の現状と一致しないことから、根本的な見直しが必要と考えるがどうか。</p>	<p>教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
2	<p>馬場 隆 6月13日(火) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 「テロ等準備罪(共謀罪)」法案について</p>	<p>犯罪を計画段階から処罰する「共謀罪」の趣旨を含む組織的犯罪処罰法の改正案が5月23日の衆議院で、共産党・民進党など野党4党の反対の中、自民・公明・維新などの賛成多数で強行可決された。</p> <p>京都弁護士会はずでに、「テロ等準備罪(共謀罪)」法案の内容は、①適用対象を「組織的犯罪集団」とすること、②「2人以上の計画=共謀」をした場合に、計画(共謀)した者の内の誰かが「犯罪の実行のための資金又は物品の取得その他の準備行為」を行った場合に処罰すること、③対象犯罪をこれまでの600以上から300にまで絞ることを予見していた。</p> <p>(1) 「共謀罪」法案は、組織的犯罪集団を対象に、277の犯罪を計画し、資金調達などの準備行為を処罰する内容となっている。これは、犯罪を実行に移した段階から処罰する日本の刑事法の原則を大きく変えるものではないか。市長の見解を問う。</p> <p>(2) 「共謀罪」の法案は廃案すべきと考えるが、</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>市長の見解は。</p> <p>2 国及び京都府登録文化財について</p> <p>3 新火葬場の建設計画について</p> <p>4 市長の住居問題について</p>	<p>市長の見解は。</p> <p>亀岡市北町の楽々荘洋館・日本館・玄関が1997年6月12日、国登録有形文化財（建造物）に登録され、その借景として、楽々荘庭園が2010年3月23日に京都府登録文化財（名勝）に登録された。亀岡の町なかで、重要な景観をまちづくりにゾーニング化し位置づけることは、本市の目指すべき都市像と住民の意思形成過程にとって重要なことと考える。</p> <p>しかし、近隣での高層マンション計画なども取りざたされており、本市のまちづくり政策の指針を問うものである。</p> <p>(1)文化財保護に国はどのような補助をしているのか。</p> <p>(2)京都府はどのような補助をしているのか。</p> <p>(3)どのような開発計画が出てきているのか。</p> <p>(4)楽々荘周辺の文化的価値をどう守ろうとしているのか。</p> <p>去る5月16日に招集された第2回亀岡市新火葬場整備検討審議会は、審議会委員の出席がわずかに過半数を上回って成立するという厳しい状況であった。</p> <p>これは執行機関の附属機関と定められる審議会が極めて異常な事態に立ち至っていると考えられる。</p> <p>(1)欠席者の欠席理由は妥当なものであったのか。</p> <p>(2)審議会委員に地方自治法上の位置づけを徹底しているのか。</p> <p>(3)審議会に市長はどのような諮問を行ったのか。</p> <p>(4)今定例会提案の第4号議案、審議会条例改正の理由は。</p> <p>「亀岡市長が違法居住 農家住宅に19年間、退去へ」（毎日新聞3月11日付け）など、新聞各紙に報道された。市長は自宅を退去され、自ら4月から減給10分の5（3カ月間）を課し、案件を終結されたが、なおかつ不明な点があるので質問する。</p> <p>(1)報道各社の記事では、「市長の説明によると、1998年10月、亀岡市曾我部町の市街化調整区域で、農業従事者の知人を介し農家住宅として新築された木造2階建て住宅を取得。約19年間不適切な状態で居住し続けてきたという。」（同毎日）等とされている。これらの記事は、取得または売買のどちらとも読み取れるが、どちらなのか。</p> <p>(2)曾我部町穴太の旧自宅は、登記簿によると、平成9年（1997年）10月16日に家屋の所有権保存がされている。記者会見の市長</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長</p>
--	--	---	--	---

		<p>5 京都スタジアム（仮称）建設計画について</p>	<p>説明と1年の差があるが、なぜか。  (3) その他、登記簿上、重要な変更点があるのではないか。</p> <p>亀岡駅北土地区画整理事業地から、新たな土地を亀岡市が約20億円で、京都府が約13億7千万円で購入しようとする税金の使い方について、スタジアムの賛否を超えて、今怒りの声が大きく広がっている。そこで、その根拠について質問する。</p> <p>(1) 購入しようとする土地の面積はどのくらいあり、それは行政財産と普通財産のどちらに分類されるのか。  (2) 同一帯の土地を亀岡市と京都府は、「共同所有する」としているが、「共有」なのか「含有」なのか見解を問う。  (3) 騒音について  ① 工事着工すれば騒音は免れないが、どう規制するのか。基準を超えた場合の措置は。  ② 試合開催時の騒音基準はどうか。基準を超えた場合の措置は。  (4) 振動について  ① 工事車両（ダンプ）の出入りによる振動は免れない。車両総数や時間帯、時期に規制を設けるのか。  ② 杭打ちなど各種機材による騒音も免れない。規制基準を設けるのか。  ③ 周辺住宅地への影響も看過できない。地域への説明を京都府は行うのか。  (5) 光害について、実施設計書が出ていない段階での照度シミュレーションは机上の空論と考えるがどうか。  (6) 広域化による環境負荷についての対策は、事業主体の京都府がすべて行うと理解してよいのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
3	<p>藤本 弘 6月13日(火) 11:30~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 ふるさと納税のさらなる拡大について</p>	<p>昨年は1億円を目標とし、1億7千万円の寄附をいただいた。</p> <p>(1) 今年度の目標は、どのように考えるか。  (2) インターネットでは「ふるさと納税ベスト10」等の発表があるが、他市・先進地の研究や視察等はどのように行っているのか。  (3) 申込みの窓口である高島屋と楽天では、総寄附額に対して占める割合はどのようになっているのか。（金額と%）  (4) インターネットの申込窓口の拡充や、内容の改善・工夫等は、どのように行っているのか。  (5) ふるさと納税の獲得競争で返礼品の豪華さを競う傾向が激化しており、返礼品の調達費用が寄附額の5割を超えるケースもあり、総務省は返礼割合と内容の見直しを求めている。これに対し、亀岡市の基本的な考え方は。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>(6) 総務省の通達により、平成29年4月1日から、市内在住の人は返礼品の申込みができないこととなった。従来、亀岡市においては可能としてきたが、対応はどのように行ったのか。</p> <p>(7) 返礼品充実の取組みについて</p> <p>①返礼品として亀岡産米や亀岡産京野菜の供給体制、亀岡牛等の畜産品の供給体制は十分か。</p> <p>②観光や体験とのタイアップの効果、実績はどうか。また、連携はうまくいっているのか。</p> <p>③返礼品として、新たに追加したものはあるか。(物品やサンガ関係のもの)</p> <p>(8) 企業版ふるさと納税の進捗状況と、その利活用についての考えは。</p> <p>(9) 今後のふるさと納税のPR、取組みについての展望は。</p> <p>本年5月18日、産業建設常任委員会で神奈川県藤沢市の「地産地消推進条例」(議員提案)に基づく取組みについて行政視察を行った。地産地消推進計画を策定し「安全で安心な地元食品を安定供給するとともに、食文化の伝承、郷土への愛着心を育み、地域の活性化を図る」としている。また、JAの直売所「わいわい市藤沢店」は年間売上10億円、県内第2位である。販売できなかった商品(農産品)は、子ども食堂に利用しており、農家の手間も省けるとのことである。</p> <p>(1) 亀岡市においては、他市の直売所、売上ベスト10等の調査・研究、視察等はどのように行っているのか。</p> <p>(2) 市内の専業農家、兼業農家の数と割合は。</p> <p>(3) 農家収入が1千万円以上の戸数はどのくらいあるか。</p> <p>(4) 本市において、藤沢市のような地産地消推進協議会を設け、生産者・消費者・事業者・学者・議会・行政等を交えて協議し、政策を進めていく考えはあるか。また、そのようなことは行っているのか。</p> <p>(5) 藤沢市では、「藤沢産」のロゴマークを作成し、他市の農産物と差別化しブランド化を図っている。亀岡市においても、京野菜「亀岡産」のロゴマークを募集し、府下の京野菜と差別化し、ブランド化をもっと図るべきだと考えるがどうか。</p> <p>(6) 京都府下における「亀岡産」京野菜のシェアはどのくらいか。(品目ベスト10と占める生産割合)</p> <p>(7) 亀岡市内でも子ども食堂が立ちあがっている。直売所で販売できなかった農産品を、藤沢市のように子ども食堂に提供する仕組みを、行政の助成(支援)も考慮し、構築する考えはあるか。生産者も助かり、福祉にも役立つと思うがどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
--	--	---	--------------------

		<p>3 民間活力導入による中心市街地のまちづくりについて</p> <p>4 雑水川拡幅整備事業の早期推進について</p>	<p>去る5月16日、静岡県藤枝市へ常任委員会で行政視察を行った。藤枝市では、駅前の旧市立病院跡地に官民共同による複合施設を整備し、「2分の1の投資」で市立図書館の整備とにぎわいづくりを実現している。</p> <p>(1) 亀岡市においても、公共施設等総合管理計画が策定され、公共施設のマネジメントが必要とされている。今後の公共施設のあり方として、民間活力を導入していく考えはあるのか。</p> <p>昨年6月に質問したところ、緑橋から上流220メートル間を事業化しており、秋には工事発注し、地元説明を経て、橋梁の架替え等、工事に着手していくとの答弁であった。しかし、1年たっても何の変化も見られない。</p> <p>(1) 進捗状況と今後の予定は。</p> <p>(2) 下流の市道クニッテルフェルト通に面した春日橋の架け替え拡幅工事、その上流の府道亀岡園部線にかかる春日小橋の架け替え拡幅整備工事について、進捗状況と今後の予定はどのようになっているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
4	<p>小松 康之 6月13日(火) 13:15~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 まちづくりについて</p> <p>2 移住・定住について</p> <p>3 公会計について</p>	<p>人口が減少する中、人口奪い合いの都市間競争はますます厳しくなっている。まちづくりの根本と将来ビジョンについて問う。</p> <p>(1) 交流人口増と定住人口増のどちらに重点を置くのか。</p> <p>(2) 多様性のあるまちづくりとは。</p> <p>(3) 二極化ではないグレーゾーンのあるまちづくりとは。</p> <p>(4) 市長の唱える「健康・観光・環境」とは。</p> <p>(5) 地球環境子ども村の活用で環境教育に力を入れ、ふるさと意識や交流人口を増やす狙いはあるか。</p> <p>千葉県いすみ市は、首都圏エリアでは「住みたい田舎」総合ランキング1位にランク付けされている。観光だけでは差別化できないとして、環境と経済を結び付けた総合戦略で、移住・定住に力を入れている。</p> <p>(1) 本市は何を売りとして呼び込むのか。</p> <p>(2) 対象の年齢層はどの年代か。</p> <p>(3) 若者の定住化促進について、どのような考えがあるのか。</p> <p>(4) 移住・定住の相談機関は、いつ、どこで、誰が行っているのか。</p> <p>(5) 古民家利活用による移住・定住促進施設の計画について、どのようなことが期待できるのか。</p> <p>本市の、統一的な基準に基づく公会計制度への取組みについて問う。</p>	<p>市長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		4 公共交通バス路線について	<p>(1)なぜ今、新たな公会計制度に移行するのか。</p> <p>(2)市民に対するアカウンタビリティ(説明責任)をどう考えているのか。</p> <p>(3)これまでどのようにわかりやすく市民に説明してきたか。</p> <p>(4)職員が公会計についての知識等を習得することについて、どのようなことを実施しているのか。</p> <p>コミュニティバス篠地区試験運行について問う。</p> <p>(1)コミュニティバス全体の収支経過は。</p> <p>(2)篠地区の乗降客数は。</p> <p>(3)今後の試験運行の実施について、このまま計画どおり進めていくのか。</p> <p>(4)今後の見通しはどうか。</p>	市長 所管部長
5	平本 英久 6月13日(火) 14:00~  ※一問一答	1 弾道ミサイルなどの武力攻撃への対策について	<p>北朝鮮によるたび重なる弾道ミサイルの発射は、我が国において大きな脅威である。万一の有事に備えての本市の対策について問う。</p> <p>(1)国民保護法の観点から、武力攻撃に対する自治体としての責務についてどう考えているのか。</p> <p>(2)弾道ミサイルやテロにより原子力発電所が攻撃を受けた場合の本市の対策はどうなっているのか。</p> <p>(3)弾道ミサイル着弾に備えて、Jアラートを含む緊急連絡や避難計画はどのように想定しているのか。</p> <p>(4)有事に備えて、市民の安全確保に向けての本市の取組みは、今後どのように行うのか。</p>	市長 所管部長
		2 子どもの貧困対策について	<p>全国的な問題となっている子どもの貧困対策について、本市での取組みを問う。</p> <p>(1)子どもの貧困対策について、子育て支援に前向きな本市としての考え方はどうか。</p> <p>(2)本市における子どもの貧困について、実態調査や実態把握は行っているのか。</p> <p>(3)子どもの貧困対策において、早期発見は大変重要である。早期の整備が望まれるSSW(スクールソーシャルワーカー)やスクールカウンセラーの確保や拡充はどのように考えているのか。</p> <p>(4)子どもの貧困対策について、本市では今後どのように取組んでいくのか。</p>	市長
		3 道路整備と関連施設の整備について	<p>本市における道路整備及び付帯関連施設の整備について問う。</p> <p>(1)市道中矢田篠線の全線開通に伴う交通量増加により、道路舗装の劣化が見受けられる。車両通行の安全確保に向けて、道路修繕や改修は検討しているのか。</p> <p>(2)市道篠ランプ9号線上の植え込みに雑草が</p>	所管部長

		<p>4 本市における公共交通の拡充について</p> <p>5 公共施設の整備について</p>	<p>生えて美観が損なわれている。本市の玄関口として美化整備が必要であると思うが、検討しているのか。</p> <p>本市におけるコミュニティバス等の公共交通の拡充について問う。</p> <p>(1) 西つつじヶ丘地区におけるコミュニティバスの運行についての検討は、現在どうなっているのか。</p> <p>(2) 地元住民から望まれている試験運行の見通しと課題はどうか。</p> <p>ガレリアかめおかをはじめとする公共施設の整備や改修について問う。</p> <p>(1) 亀岡会館の閉鎖に伴い、利用者のニーズが多様化する中で、ガレリアかめおかの音響設備の充実を望む声がある。設備を含む施設改修についての検討は進んでいるのか。</p> <p>(2) 交響ホールとして、新たな亀岡会館等の整備が求め続けられている中で、今後の計画や構想はどのようになっているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>所管部長</p>
6	<p>並河 愛子 6月13日(火) 14:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 京都スタジアム(仮称)建設について</p> <p>2 介護保険制度について</p>	<p>京都スタジアム(仮称)建設について環境保全専門家会議は5月17日、「建設がアユモドキに与える影響は軽微」としているが、慎重な判断が求められる状況は変わらない。京都府と亀岡市は同会議の了承を得たことで来年1月の着工に向けた準備を加速させる方針だが、環境問題、水害拡大や財政問題など住民理解は十分ではない。今後のまちづくりについても慎重な対応が求められる。</p> <p>(1) 水害問題について、平成25年の台風18号により亀岡市内は300戸を超える床上、床下浸水で甚大な被害を受けた。亀岡駅北土地区画整理事業地が造成され、平成25年の台風18号時と同規模の洪水が起こった場合、約9ヘクタール分浸水地域が拡大することが、国土問題研究会調査団の試算で明らかになった。水害問題についての認識はどうか。</p> <p>(2) 宇津根橋上流の河川改修について、昨年12月定例会で宇津根橋上流の堆積土砂の浚渫についての質問に対して、京都府が測量を行い浚渫計画を策定する予定であり、河川整備に伴い堤防の補強も含めて進めていくと聞いていますと答弁されている。水害被害を防ぐためにも必要な河川改修が求められる。進捗状況はどうか。</p> <p>平成30年度は、医療や介護制度の改悪が一斉に始まるとされている。平成29年度に給付抑制・病床削減計画の本格始動や、公的保険サービスの公定価格である診療報酬・介護報酬の同時改</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>定等の準備・具体化が進められ、安心して保険サービスが受けられるのか不安の声が上がっている。</p> <p>(1)本市における特別養護老人ホームの待機者の状況はどうか。</p> <p>(2)各事業所の実態把握はどうか。</p> <p>(3)今後の特別養護老人ホーム建設計画の見通しはどうか。</p> <p>(4)サービス付き高齢者向け住宅はどういう位置付けか。</p> <p>(5)一定の所得がある人の利用者負担が平成27年の改悪で1割から2割に上げられ、サービスを辞退せざるを得ないといった相談が寄せられている。今国会の参議院厚生労働委員会ですらに利用者負担を2割から3割に上げる改悪案が賛成多数で可決され、さらなる負担増が予想されるが、対象者の数や実態調査等はしているのか。</p> <p>(6)新しい総合事業(介護予防・日常生活支援総合事業)で90カ所の居場所づくりが進められているが、進捗状況はどうか。</p>	<p>市内を中心にコミュニティバスが巡回し、利用者には大変喜ばれているが、巡回していない地域ではバス運行を希望されている。大井町においては、学園大学からJR並河駅への運行バスは1日5便ほどあるが、市役所や病院等へのバスがなく不安を感じている。</p> <p>(1)市内循環バス運行について各地域で要望が出されている。今後の市内各地域での運行計画の見通しはどうか。</p> <p>(2)コミュニティバスやふるさとバスの運賃値上げが計画されているが、利用者の声や要望等アンケート調査や運行体系の見直し等で乗客を増やす努力をすべきである。運賃値上げはすべきではないと考えるがどうか。</p> <p>(3)高齢者にバスの割引サービスを実施する計画であると聞くが具体的な内容はどうか。運賃値上げとは別に切り離して市民サービスとして実施すべきではないか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>3 バス交通について</p>	<p>4 就学援助制度について</p>	<p>貧困と格差が広がり、子どもの貧困率は16.3%と言われている。就学援助制度の活用ですべての子どもが安心して学べる環境づくりが急がれる。</p> <p>(1)本年度の申請状況はどうか。</p> <p>(2)国は新入学児童生徒学用品費等の前倒し支給を要保護世帯に実施する局長通知を2017年3月31日に出した。これを受けて本市の対応はどうか。また、実施対象を要保護世帯に限定しているが、準要保護世帯についての本市の考え方はどうか。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>

7	<p>山本由美子 6月14日(水) 10:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 子育て支援 について</p> <p>2 新たな住宅 セーフティネッ ト制度について</p> <p>3 就学援助に おける新入学児 童生徒学用品費 の入学前支給に ついて</p>	<p>出産後の母親が育児への不安や重圧などによ って精神的に不安定になる産後うつは、約10人 に1人が経験するといわれ、深刻化すれば育児放 棄や虐待につながり、自殺を招く恐れもある。</p> <p>(1) 本市における産後ケアの現状と課題は。</p> <p>(2) 産後に産科医療機関におけるショートステ イ(宿泊型)やデイサービス(日帰り型)で、 母子のケアや授乳指導・育児相談などを行う 産後ケアの充実が求められているが、導入の 考えは。</p> <p>(3) 厚労省は平成29年度から、産後うつ予防 や新生児への虐待防止を目的とした産婦健 康診査2回分(産後2週間、産後1カ月)の 費用を助成する事業を創設した。本市におい ても、産婦健康診査事業を実施すべきと考え るが、所見は。</p> <p>(4) 産後の母子支援を充実させるための取組み は。(アンケート調査など)</p> <p>(5) 育児参加を促すための父子手帳や、地域に おける子育ての担い手になっていただくき っかけづくりとして祖父母手帳を作成し、配 付する考えは。</p> <p>民間の空き家・空き室を活用し、住まいを確保 することが困難な高齢者や子育て世帯、低所得者 など住宅確保要配慮者の入居を支援する「改正住 宅セーフティネット(安全網)法」が本年4月に 成立し、国交省は今秋にも制度の運用を始める予 定である。</p> <p>(1) 市営住宅の募集状況、応募倍率は。</p> <p>(2) 住宅確保要配慮者の現状をどのように認識 しているのか。</p> <p>(3) 本市における、住宅確保要配慮者への相談 窓口など支援体制は。</p> <p>(4) 本市に居住支援協議会を設置することにつ いて見解は。</p> <p>(5) 住宅確保要配慮者への支援と空き家活用の 両方を目指した新たな制度を実効性あるも のとするため、どのように準備し取組んでい くのか。(庁内連携などを含む)</p> <p>文科省は、要保護児童生徒援助費補助金要綱を 改正し、新入学児童生徒学用品費の単価を従来の 約2倍にするとともに、その支給対象者に就学予 定者の保護者を新たに加えた。</p> <p>(1) 就学援助における準要保護児童生徒を対象 とする新入学児童生徒学用品費の入学前支 給について、来年度から対応できるよう準備 を進めていくことが必要であると考えるが、 見解は。(平成28年3月定例会、12月定 例会で一般質問に取上げたが、その後の検討 状況も含め見解を)</p> <p>(2) 新入学児童生徒学用品費を入学前支給にす</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>
---	---	---	--	---

		<p>4 水道未普及地域における補助金制度の拡充について</p>	<p>ることにより発生する課題は。また、その対策は。</p> <p>平成24年度から、水道未普及地域において、安定した良質な飲用水等を確保するため、取水施設等を整備した場合、その経費の一部を補助する制度が創設されているが、取水施設から家庭までの配水管や給水管の経費については対象となっていない。</p> <p>(1)平成27年3月定例会での質問に対し、配水管や給水管について補助対象とするかどうかは今後それぞれの地域の実情を十分に考慮して検討していくと答弁されたが、その後の検討状況は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
8	<p>奥野 正三 6月14日(水) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 ホストタウン事業と農産物の安全安心について</p> <p>2 学校施設の整備について</p> <p>3 通学路の安全対策について</p>	<p>2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、本市はオーストリア共和国の空手競技のホストタウンに決定した。取組状況と選手に供給される農産物の安全安心について問う。</p> <p>(1)オーストリア共和国との間で、ホストタウンに向けての取組状況は。</p> <p>(2)選手滞在期間中の宿泊・食事の提供について、どのように考えているのか。</p> <p>(3)選手に供給する食材については、体調管理・栄養管理・食材の生産管理に、特に厳しいものが求められると推測するが、どのように把握しているか。</p> <p>(4)農産物の生産基準として、農業生産工程管理(GAP)があることについてどう考えるか。</p> <p>(5)新規就農者や若手農業者への食の安全安心の意識づけのために、GAPの取組みを推進・支援していくべきと考えるがどうか。</p> <p>市立小学校空調設備設置事業の平成29年度予算が可決され実施設計が行われることと、学校トイレの改修、とりわけ悪臭に対する工事の経過について問う。</p> <p>(1)空調設備を整備するに至った経過は。</p> <p>(2)整備することによって考えられる効果は。</p> <p>(3)設置に向けての整備計画の状況は。</p> <p>(4)今年度実施設計を行う対象校は9校となっているが、残り8校の計画は。</p> <p>(5)中学校7校の設置計画は。</p> <p>(6)各校トイレの悪臭に対する改修工事の進捗状況は。</p> <p>平成24年に篠町で通学時に発生した交通事故以来、府・市が一体となって、様々な安全対策が実施されているが、いまだに危険な箇所がある。</p> <p>(1)国道477号の本梅町JAガソリンスタン</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>4 府道の整備について</p> <p>5 土砂災害復旧工事について</p>	<p>ドから、ほんめ町ふれあいセンターの間に歩道がなく危険であるが、認識しているのか。 (2) 今後の安全対策に向けた計画はあるのか。</p> <p>平成27年6月定例会で質問した府道宮前千歳線の鳴滝工区の工事について問う。 (1) 当初の計画より2年以上遅れている原因は。 (2) 工事完成までの計画は。 (3) 府道の整備に向けた府の公募型事業が、交通安全対策も含め、全体的に遅れていると思うがどうか。</p> <p>梅雨の時期になり大雨が予想される中、平成27年6月定例会で質問した、本梅町グリーンタウン区学遊館の裏山の土砂崩落について、その後の経過を問う。 (1) 復旧工事の進捗状況は。 (2) 完了までの今後の計画は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
9	<p>竹田 幸生 6月14日(水) 11:30~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 JR千代川駅整備について</p> <p>2 通学路の安全(横断歩道設置)について</p> <p>3 TWILIGHT EXPRESS「瑞風」と亀岡市のアピールについて</p> <p>4 子育て世代包括支援センター運営委託更新取り止めについて</p>	<p>これまでの間、東側ロータリー整備、上りホーム拡幅、西側ロータリー送迎車両待機所の改修等が行われ、今後も、バリアフリー化に向けた整備が進められようとしている。 (1) 今年度における、バリアフリー化に向けた取組みの具体的な内容はどうか。 (2) 国庫補助金の内示が満額でなかったと聞いているが、進捗に影響はないか。</p> <p>JR千代川駅東側ロータリー及び周辺道路の整備や歩道の確保により、安全性が向上したが、歩道利用に対して、ロータリー部分に横断歩道の設置が望まれる。 (1) 公安委員会との協議の進捗はどうか。 (2) 設置となると道路管理者として改修が必要となるが、どのような内容か。</p> <p>キラリ亀岡おしらせに、全国的にも人気の「瑞風」が、亀岡市を通過する日時が掲載されている。 (1) 亀岡市の様々な物と結びつけることにより、本市のアピールに繋がると考えるがどうか。</p> <p>昨年10月に公設民営で開設されたが、委託更新がされないで、4月から亀岡市直営で運営が行われている。 (1) どのような状況であったのか。 (2) 市の審議会等の会議体に、今回の受託法人の関係者はどの程度参画しているか。 (3) 3月定例会の予算特別委員会で説明がなかったのはなぜか。 (4) 直営になり2カ月が経過したが、状況はどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>所管部長</p>

		<p>5 介護予防・日常生活支援総合事業について</p> <p>6 地域包括支援センターにおける市民対応について</p>	<p>(5) 今後の考え方はどうか。</p> <p>平成30年度から完全実施となり、新たな制度実施に関係者の関心は強い。</p> <p>(1) 4月21日付けの新聞記事での高齢福祉課のコメントの真意はどのようなことか。</p> <p>地域包括支援センターは、市の委託による地域の相談窓口の要であり、介護に不安を抱いた市民の最も身近な存在である。</p> <p>(1) 市民に対してどのように接することが望ましいと考えるか。</p> <p>(2) 新たな制度に向けた市の意思が強く働き過ぎているのではないか。</p> <p>(3) 今後の対応はどうか。</p>	<p>所管部長</p> <p>所管部長</p>
10	<p>田中 豊</p> <p>6月14日(水)</p> <p>13:15~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 高浜原発の再稼働について</p> <p>2 京都スタジアム(仮称)について</p> <p>3 農業政策について</p>	<p>関西電力は、5月17日に高浜原発4号機を再稼働した。また、3号機についても再稼働を予定している。そこで、原発の再稼働について所見を問う。</p> <p>(1) 高浜原発は、いったん事故を起こせば福井県は言うに及ばず京都府や滋賀県にも被害を及ぼす原発であるがどうか。</p> <p>(2) 事故の規模や風向きによっては、亀岡市にも影響があると考えがどうか。</p> <p>(3) 原子力規制委員会の審査は安全性を保障するものでないと考えがどうか。</p> <p>(4) 高浜原発3・4号機は、プルサーマル炉での最初の再稼働であるが、これは使用済み核燃料がたまりすぎ、再処理で取出すプルトニウムの処分には迫られているからと考えるがどうか。</p> <p>(5) 原発を稼働させなくても電気は足りている。経済産業省は4月、この夏も全国で節電要請を見送ることを発表した。3月の世論調査でも再稼働反対が賛成を大きく上回っている。国民を危険にさらす恐れのある再稼働はすべきでないと考えがどうか。</p> <p>京都スタジアム(仮称)は、様々な問題を内包しているが、建設が先にありきで進められている。</p> <p>(1) 京都スタジアム(仮称)の経済効果について、亀岡市の試算はどうか。</p> <p>農業競争力強化支援法が成立したが、次の点を問う。</p> <p>(1) この法や農業競争力強化プログラムの根底には、「規制緩和すればすべてがうまくいく」という考えがあるのではないか。</p> <p>(2) 規模拡大して、コストダウンすれば「強い農業」になると考えるのか。</p> <p>(3) 農業政策は、単に農家保護政策ではなく、</p>	<p>市長</p> <p>所管部長</p> <p>市長</p> <p>所管部長</p> <p>市長</p> <p>所管部長</p>

		<p>国民の食料・命を守る政策だと考えるがどうか。</p> <p>(4) 亀岡市の農業への効果はあるのか。</p> <p>第3次亀岡市元気農業プランが策定されたが、次の点を問う。</p> <p>(5) 現在の亀岡市の農業の課題・問題点は何か。</p> <p>(6) 新規就農者確保・育成があげられているが、過去5年間の新規就農者は何人か。</p> <p>(7) そのうち、農業を続けている人は何人か。</p> <p>(8) 続けることができなかつた原因は何か。</p> <p>(9) 今、最も求められる政策は、農業者戸別所得補償政策と考えるがどうか。</p>		
	4 教員の長時間労働について	<p>本年の3月定例会での予算特別委員会で、2016年4月から12月の間における、亀岡市立小・中学校教員の時間外勤務時間数が口頭で報告された。</p> <p>(1) 予算特別委員会でこの報告は、文部科学省が行った2016年度の公立小・中学校教員の勤務実態調査時のものであるのか。</p> <p>(2) 月80時間以上は、小学校で延べ264人・月平均で29.3人、中学校では延べ177人・月平均で19.6人であり、月100時間以上は、小学校で延べ92人・月平均10.2人、中学校では延べ328人・月平均36.4人となっているが、本年1月から3月の状況はどうか。</p> <p>(3) 文部科学省の実態調査は、10年ぶりに実施されたが、本市の実態調査の状況はどうか。</p> <p>(4) 厚生労働省が過労死ラインとしている月80時間以上の時間外勤務をしている教員の割合は、小・中学校別にどうか。</p> <p>(5) どのように実態把握をしているのか。</p> <p>(6) 長時間の時間外勤務の原因は何か。</p> <p>(7) 時間外勤務に歯止めをかけることが必要と考えるがどうか。</p>	<p>教育長 所管部長</p>	
11	<p>富谷加都子 6月14日(水) 14:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 日常生活支援総合事業について</p>	<p>将来において持続可能な介護保険制度とし、地域包括ケアシステムの構築を進める事業として今年度、日常生活支援総合事業が始まった。平成30年4月1日の完全移行を控え、現場の声を受け以下の点を問う。</p> <p>(1) 現行サービスを提供する事業者から、来年度の単価見込みが未定では経営の見込みが立たないとの声がある。市としての考えは。</p> <p>(2) 日常生活支援総合事業の趣旨は、多様なサービスの受け皿確保である。共生社会の構築に向けての進捗状況は。</p> <p>(3) 要支援認定者から、サービスの受け皿はあるがサービスが利用しにくいとの声がある。特に、今回地域支援事業に移行したサービスの整備が途中であることが原因だと考える</p>	<p>所管部長</p>

		<p>2 生活困窮者自立支援法について</p>	<p>が、市の見解は。</p> <p>(4) 今回の日常生活支援総合事業の移行を受け、一人でも多くの参画が大切である。ボランティアポイント事業を利用し、多くの方に協働を呼び込む考えは。</p> <p>(5) 超高齢化社会を見据え、市として安心できる具体的なビジョンを持つ時である。一人でも多く、制度の理解が必要である。今後の市の進め方は。</p> <p>本市は、同制度施行前より、いち早く生活の困難を抱える方々の支援として亀岡市生活相談支援センターを開設した。今後も、多岐にわたる生活の生きづらさ解決の受け皿として同法を活用し、さらなる整備を期待する。</p> <p>(1) 今年度新たに就労準備支援事業が予算化されたが、平成27年度は京都府の事業で就労準備支援事業を実施していた。しかし、平成28年度は京都府の事業が撤退し、継続されなかった。平成28年度の自立相談支援事業から就労準備支援事業に繋がられなかった件数とその理由は。</p> <p>(2) 自立就労に向けて、中間就労先の現状や今後の開拓は。</p> <p>(3) 生活困窮者支援は、経済的な解決だけでなく、困窮に至った引きこもりや病気、障害など多くの課題解決の入り口を有すると考えるが、市の考えは。</p> <p>(4) 任意事業の実施は、自治体間により格差がある。困窮者の課題は複雑多岐にわたり総合的な取組みで功をなすと考える。今後、学習支援事業に取り組む考えは。</p>	<p>所管部長</p>
		<p>3 自転車活用推進法について</p>	<p>本年5月1日に自転車を利用しやすい環境整備を進める「自転車活用推進法」が施行された。環境に優しく健康増進に寄与し、交通緩和にも役立つ自転車推進を今後のまちづくりに生かすべきと考える。市の考えを問う。</p> <p>(1) 今後本市において、自転車専用道路や通行帯を新たに整備する計画は。</p> <p>(2) かめまる観光レンタサイクルの利用状況は。</p> <p>(3) 自転車愛好家や観光客向けのサイクリングマップの作成は。</p> <p>(4) 観光振興としての自転車イベントの計画は。</p> <p>(5) 一般市民に向けた自転車マナーの教育として、自転車安全利用五則の周知は。</p> <p>(6) 5月5日が「自転車の日」、5月が「自転車月間」と定められたが、今後、本市の取り組みはあるのか。</p>	<p>所管部長</p>

12	<p>小川 克己 6月14日(水) 15:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市立病院について</p> <p>2 いじめについて</p> <p>3 通学路の安全対策について</p>	<p>亀岡市立病院の経営は厳しい状態が続く中、平成29年3月地域医療構想を踏まえた亀岡市立病院新改革プランが亀岡市立病院経営審議会の審議を経て答申に基づき策定された。平成29年度は今後持続可能な病院経営を続けていくにあたり、正念場の年になると思うが、病院事業管理者の考えを問う。</p> <p>(1)平成28年度の医師確保や経営状態はどのようなものであったのか。</p> <p>(2)職員の意識改革・マンパワーについてどのように考えているのか。</p> <p>(3)地域医療との連携は現状どのようなものか。</p> <p>(4)今年度に充実させていく取組みは。</p> <p>(5)病院新改革プランを踏まえた今後についての所見は。</p> <p>(6)平成29年度以降どのような病院にしていく考えなのか。</p> <p>将来を担う子どもが、いじめによる不登校や、他市の事例ではあるが自ら命を絶つという報道を目にするたびに防止策はなかったのか、また早期対応ができなかったのかと思う。</p> <p>(1)本市において「亀岡市いじめ防止基本方針」を策定し取組んでいると聞くと、教育現場での予防と対策、地域との連携は。</p> <p>(2)いじめを受けた時、子どもが取る対応策について周知しているのか。</p> <p>(3)いじめにかかわらず、子どもがSOSをどのように発信し誰がどのように受け止めると初期の段階で抑えられると考えているのか。</p> <p>(4)小・中学校におけるいじめの状況は。</p> <p>通学路の安全対策については、全市的に取組まれているところであるが、今後の安全対策について問う。</p> <p>(1)電柱に取付けられている「通学路」と示した注意喚起看板の点検と更新の進捗状況は。</p> <p>(2)ゾーン30について今年度の指定予定は。</p> <p>(3)市道川関小林線の継続的な安全対策についてどのように考えているのか。</p>	<p>病院事業管理者 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>
13	<p>三上 泉 6月14日(水) 15:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 憲法に対する市長の基本姿勢について</p>	<p>「核兵器廃絶と全面完全軍縮に関する発信」がますます世界の趨勢になっている中で、唯一の被爆国であり、戦争の永久放棄を誓った憲法9条をもつ日本の役割は大きい。そんな中、首相が2020年施行目標で憲法9条の改正を明言し、多くの国民・市民はもちろん、政府与党内からも困惑と批判の声があがっている。このような中で、憲法に対する市長の姿勢を問う。</p> <p>(1)公務に携わる市長以下すべての市職員の、憲法をはじめとする法令遵守、憲法を市民の</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 京都スタジアム（仮称）の亀岡駅北への誘致について</p>	<p>暮らしと市行政に生かす姿勢について、市長の考えは。</p> <p>(2) 憲法9条については、多くの世論調査で、「改正すべきではない」が半数を超え「改正すべき」を大きく上回っている。亀岡市民も多くがこのような意識動向を持っていると考える。実際に不安感を語る方も多い。憲法9条についての市長の考えは。</p> <p>(3) 平和首長会議の一員としての市長の憲法9条に対する考えは。</p> <p>5月17日に環境保全専門家会議、また6月5日に京都府公共事業評価に係る第三者委員会が開催された。そこに出された評価調書の内容に関わる課題について問う。</p> <p>(1) 環境保全専門家会議に出された資料について、府と市が合意して出されたとされているが、駐車場や渋滞解消、公共交通機関のスムーズな活用などでは、不明な点や亀岡市民に大きな影響が生じる可能性がある表記となっている。市は本当にこれをすべて了承・合意しているのか。</p> <p>(2) 現時点において、駐車場の確保、渋滞解消などの具体的な見通しは。</p> <p>(3) 地下水調査、アユモドキの水槽を使っての実証実験、個体数調査以外の、環境や周辺住民への影響調査はシミュレーションであり、これらは、従前から市は、「実施設計を待つて明らかにされる」としてきたが、未だ実施設計が出されていない中で、用地の適格性、事業の評価はできないのではないか。</p> <p>(4) それゆえに、用地の取得を論じるのは時期尚早ではないか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>3 市の観光戦略について</p>	<p>観光客に対する市内の観光スポットを案内するシステムについて、現代のニーズやツールに即した改善や工夫が必要であると考え。</p> <p>(1) 観光案内板などに標記されているQRコードを利用した案内についての現状は。</p> <p>(2) 城下町だけでなく、亀岡市内の観光スポットにQRコード等を活用した観光案内システムを導入する考えは。</p> <p>(3) 官民他業種が一体となってプラットフォームを形成し、オール亀岡の体制で観光戦略を構築すべきであると考え、それらについての考えは。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>4 市立病院の運用、設備の改善について</p>	<p>市立病院をもっと利用しやすくしてほしいという市民の声を聞く。</p> <p>(1) 病院に寄せられる市民からの要望等の最近の傾向は。</p> <p>(2) 障害者用駐車スペースが少なく、特に雨の日に歩行車を両手で押す通院者は傘もさせ</p>	<p>市長 病院事業管理者 所管部長</p>

		5 中学校給食について	<p>ず、ずぶぬれになってしまうという。改善策はないか。</p> <p>(3) 車両の通路を誤って逆走したり、駐車禁止の場所に駐停車したりすることによるトラブルも多いという。病院敷地内の標識や路面標示を工夫するなどの改善策は。</p> <p>今秋からモデル校1校で中学校での選択制デリバリー弁当方式が試行される。中学校給食に対する姿勢や試行の具体的な計画について問う。</p> <p>(1) 改めて学校給食法や食育基本法に照らした中学校給食の意義を問う。</p> <p>(2) それに基づく、亀岡市の中学校給食の今後の発展的見通しをどのように持っているのか。</p> <p>(3) 今秋から試行実施されるデリバリー弁当方式の準備状況は。</p> <p>(4) 「給食」の理念に近付ける努力が必要である。亀岡市が中学校給食について市民に啓発を図り、一刻も早い完全給食を求めるが、その見通しは。</p>	市長 教育長 所管部長
14	齊藤 一義 6月15日(木) 10:00~  ※一問一答	1 新電力会社について	<p>昨年12月定例会にて、本市資源の利活用により、本市公共施設の電気料金の軽減に取り組む考えを尋ねたところ、市長は、亀岡市として電力会社の設立を視野に入れて検討していくと答弁された。</p> <p>(1) 自治体PPS（地域新電力会社）とはどういうものか。</p> <p>(2) なぜ今、会社を立ち上げる必要があるのか。</p> <p>(3) 入札ではなく、なぜPPSなのか。</p> <p>(4) 学校へのエアコン導入で、電気料金の想定増加額は。</p> <p>(5) 電気料金の軽減予定額は。また、その他にどのようなメリットがあるのか。</p> <p>(6) 自治体PPSで今後、湖南市のように汚泥ガス発電も視野に入れているのか。</p> <p>(7) 将来的には電力の地産地消へ向かうのか。</p>	市長 所管部長
		2 住みたいまちづくりについて	<p>市内にある公営住宅団地が老朽化し、住民を含めた団地自体の高齢化で活気が失われていると考える。国土交通省も団地の建替えを後押しするため、補助の対象を広げている。</p> <p>(1) 保育所を併設した団地に建替え、子育て世代が住みたいまちにするため、関係機関に働きかけてはどうか。</p>	市長 所管部長
		3 新国道9号について	<p>雨量や雪害に左右されずに南丹圏域の住民の安心安全を確保する、名実ともに緊急輸送道路となる国道9号の確保には、新国道(ダブルルート)が必要と考える。</p> <p>(1) 新国道9号(ダブルルート)推進協議会を立ち上げてはどうか。</p>	市長 所管部長

		<p>4 桂川治水対策について</p> <p>5 石田梅岩について</p>	<p>本市最大の課題は洪水対策であるが、なんといっても保津川峡谷の掘削が叶わないことが問題であるとする。しかし、全国の様々な治水対策を鑑みると、貯水することが解決につながると考える。本市においても雨水タンクの補助制度を創設する等の取組みを行っているが、考え方は通ずるものがある。</p> <p>(1) 貯水能力の一端を占めていると考えられるため池だが、平成以降に消滅したため池の数は。</p> <p>(2) 亀岡運動公園等に調整池を整備し、水害のないまちづくりをしてはどうか。</p> <p>江戸時代に、世界に誇る日本人の道德観を日本全国に植え付けたといわれる石田梅岩こそ、亀岡の誇る先人であるとする。今まさにその精神を学び伝えることが責務であるとする。石門道場や梅岩塾を建設し、後世に伝えるべきとする。</p> <p>(1) 梅岩塾(仮称)建設のため、クラウドファンディングを用いて資金調達をしてはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
15	<p>石野 善司 6月15日(木) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市税収納について</p> <p>2 スポーツ振興について</p>	<p>税務課から軽自動車税、固定資産税・都市計画税の納税通知書が届いた。納期限を過ぎても納付されない場合、納期限後20日以内に督促状を発送し、督促後10日を過ぎても納付がないとき、滞納処分を受けることになる。また、これらの税金について納期限を過ぎても納めないときは、延滞金・督促手数料を納付しなければならない。</p> <p>(1) 市税の収納状況は。</p> <p>(2) 昨年度中、督促状等により納税を促すような事象はあったのか。</p> <p>(3) あるのであれば、税目ごとの督促状の発送件数は。</p> <p>(4) 督促状作成経費と郵送費はどれくらいか。</p> <p>本市のスポーツは、昭和63年の京都国体で、市民総参加のもとに成功し、これを契機として基盤が作られた。すべての市民がスポーツを楽しむことができる生涯スポーツの推進と、生きがいある生活、活力ある社会づくりを進めるためにも、「こころ」と「からだ」の健全な発達を促し、生涯スポーツ社会の実現を目指すため「亀岡市スポーツ振興21アクションプラン」が策定されている。</p> <p>(1) 計画はどのように進んでいるのか。</p> <p>(2) 計画の基本方向は。</p> <p>(3) 計画の具体目標は。</p> <p>(4) 現時点での各目標の達成度は。</p> <p>子どもから青年・シニアまで、一般市民の競技力向上は目覚ましく、亀岡市の生涯スポーツが確実に発展を遂げる一方で、スポーツ参加の二極化が進み、広く市民に愛されるスポーツ環境の整備</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>

			<p>を行う必要が生じている。現在、地域住民の子どもから高齢者までのあらゆる世代において、さまざまなスポーツを気軽に楽しめる3つのクラブが、活発に活動されている。</p> <p>(5) 総合型地域スポーツクラブの活動状況は。</p> <p>(6) 総合型地域スポーツクラブの拡大の取組みは。</p> <p>(7) 総合型地域スポーツクラブの課題は。</p> <p>小学校低学年から学校の通常授業以外に、野球やサッカーなどのスポーツ少年団、また、水泳など民間スポーツ教室での活動が活発である。</p> <p>(8) 学校の通常授業以外のスポーツ活動の現状は。</p> <p>(9) 学校の通常授業以外のスポーツでの課題は。</p> <p>中学校でも多くの生徒がスポーツの部活動をしているが、少子化による生徒数の減少などにより部員数が減少し、競技種目によってはチーム編成ができないなどの状況がある。また、指導者や顧問の教員の高齢化による人材不足や実技指導力不足等のために活動できないなどの状況があると聞く。</p> <p>(10) 中学校のクラブ活動の現況と認識は。</p> <p>(11) 生徒数の減少、または指導者不足により活動できなくなったクラブへの対応は。</p> <p>(12) 4月からの中学校等の部活動指導員制度の導入をどのように考えるか。</p> <p>(13) 中学校のクラブ活動での課題は。</p> <p>2021年にアジアで初めて、ワールドマスターズゲームズが開催される。参加者は外国から2万人、国内から3万人と、多くの観光客が見込まれる。</p> <p>(14) ワールドマスターズゲームズ2021関西を本市に誘致する考えは。</p>	
	3 地域防災力向上に向けて	近年、地球温暖化の影響により、多くの台風が発生し、大雨やゲリラ豪雨など異常気象が多発し、それに伴う土砂災害や河川の氾濫など、全国的に数多くの被害が発生している。	<p>(1) 今年度の総合防災訓練の実施内容は。</p> <p>(2) 市職員の危機管理体制（動員配備）は。</p>	市長 所管部長
	4 持続可能なまちづくりについて	全国的にも少子高齢化の問題は、待ったなしの状況である。その解決策として地方創生が叫ばれている。本市のコミュニティ単位の目線で見ると、様々な課題が浮き彫りになっている。地域の子どもの減り、学校を卒業した若者は地元を離れ、地域活動の担い手は高齢化が進み、新興住宅街で子どもたちが多かった地域は、一様に高齢化を迎え、世代間の新陳代謝が低下していくなど、今後のまちの行く末に不安を抱えている地域は多いと考える。		市長 所管部長

			(1) 亀岡市人口ビジョン・総合戦略において、人口減少や少子化を食い止める有効な手段は示されているのか。	
16	奥村 泰幸 6月15日(木) 11:30~  ※一括	1 国道372号について  2 交流拠点の整備について  3 市の石「桜石」について  4 保育所について	国道372号(柿花工区)について問う。 (1) 土地取得等の進捗状況はどうなっているのか。  京都スタジアム(仮称)関連事業の取組みについて問う。 (1) 関連事業のスケジュールはどうなっているのか。 ① 上下水道の整備はどうか。 ② アクセス道路の整備はどうか。 ③ 都市ガスの整備はどうか。 (2) 交流拠点としてのスタジアムを、商業や観光等の地域活性化へつなげる官民一体の取組みについて、どのように考えているのか。 (3) 市としてのこけら落としのイベントは、どのように実施するのか。  「桜石」について問う。 (1) 「桜石」の保存について、どのような取組みを考えているのか。 (2) 観光資源としての活用はどのように行うのか。  公立保育所について問う。 (1) 公立保育所の民営化について、どのように考えているのか。	市長 所管部長  市長 所管部長  市長 所管部長  市長 所管部長
17	福井 英昭 6月15日(木) 13:15~  ※一問一答	1 火葬場について	約20年前に余部町丸山に都市計画決定された新火葬場については、当時様々な紆余曲折があり頓挫した。時代は流れ、待ったなしの課題として浮かび上がっている現在の火葬場問題について、現状と考え方を問う。 (1) 亀岡市新火葬場整備検討審議会の審議状況は、どのようなものか。また経過進捗は。 (2) 今後の審議会の開催計画は。 (3) 審議会の委員はどのような構成になっているか。 (4) 都市計画決定から20年が経過するなかで、本市を取り巻く社会情勢、周辺環境などの変化を反映した整備構想が作成できるのか。 (5) 本市における火葬需要の見込みに変化はないか。 (6) 本市の需要だけではなく、近隣市町の需要もあわせて対応できるような広域的な考えはないのか。 (7) 新火葬場建設の用途は。	市長 所管部長

	<p>2 曾我谷川の河川管理について</p>	<p>曾我谷川は、西別院地区から曾我部町を通り、亀岡地区西部を流れ桂川にそそいでいる。近年少しの雨量でも水位が上昇し、台風あるいは局地的豪雨の折にはあつと言う間に水位が上昇する。南丹広域管内でも一番に避難判断水位に達し、いちばん最後まで水位が下がらず、完全に下がっても水防団待機水位とほとんど変わらない。</p> <p>(1) 亀岡市は現状を把握しているのか。またその所見は。</p> <p>(2) 京都府は現状を把握しているのか。またその所見は。</p> <p>(3) 京都府の管理河川ではあるが、亀岡市としては住民の安全安心を担保するため、どのような考えをもっているか。</p> <p>(4) 現状では、曾我谷川は学者が河川の調査をしてからでなければ浚渫ができないということだが、その内容は。</p> <p>(5) 地元常盤町、河原町では、「天然記念物と人の命とどっちが大事か」との声があるが、所見は。</p> <p>(6) 天然記念物(希少生物)が生息する河川では、日本国中、このようなことになっているのか。</p> <p>(7) 本年、曾我谷川下流で立木の伐採が行われたが、この経緯と経過は。</p> <p>(8) 曾我谷川と同様に希少生物の生息が予想される河川では、京都府と魚類学会と一緒に現状を把握し、その対策がなされようとしていると聞くが、どのようなことか。</p> <p>(9) 京都・亀岡保津川公園で計画されている共生ゾーンができ上がってからでなければ浚渫できないのであれば、あと何年かかるのか。さらに土砂がたまり、大きな被害が出ないとも限らない。これでは人災、アユモドキ水害になるのではないか。</p> <p>(10) 一方で京都・亀岡保津川公園の共生ゾーンを早く整備しようとする計画は、希少生物を保護しながら一番大切な人命と生活を守るため最良の施策であると考えているが、総合的な所見と覚悟は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>3 西別院町の土砂置き場について</p>	<p>亀岡市内には様々な土砂置き場(処理場)があるが、特に西別院町犬甘野から曾我部町法貴間の山中にある土砂置き場について問う。</p> <p>(1) この地は、京都府や亀岡市の土砂等による土地の埋め立てに関する条例により、適切かつ合法的に留置されているものなのか。</p> <p>(2) 地元では、一旦土砂盛りされた上に、さらに土砂が積まれているが、仮置きということで処理されているのではないかという声があるがどうか。</p> <p>(3) 近年、土砂ののり面(傾斜部)に、太陽光発電の器具が設置されているが、誰が許可し</p>	<p>所管部長</p>

		<p>たものか。ずり落ちる心配はないのか。</p> <p>(4) 曾我部町法貴の山地まで広げる計画があるように聞くと、その部分は土砂条例等の規制が有効な場所なのか。</p> <p>(5) 土砂はいくら固めてもいつかは崩れる。ましてや管理するものがいなくなれば必ず崩れる。亀岡市としては、その点を踏まえ、しっかりと契約・処理できているのか。</p> <p>(6) 東・西別院町において大がかりな残土処分地が2カ所でき、それに関わる者がどちらも逮捕されていることについて、亀岡市はどう考えるか。またその者や関係者から再び残土持込み等の申請があれば受付けるのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>	
	<p>4 フィルムコミッション的発信方法について</p>	<p>亀岡市域は映画、ドラマ、コマーシャルなどの撮影ポイントが多く存在する。フィルムコミッションの内容や意義は今更言うまでもないが、亀岡こそ諸条件をもっとも色濃く持っているフィルムコミッションの最適地だと考えている。</p> <p>(1) フィルムコミッションとはどのようなものと認識しているか。</p> <p>(2) 秋本治氏の「ファインダー —京都女学院物語—」などは映画ではないが、フィルムコミッションの考え方があれば様々な発信ができるのではないか。</p> <p>(3) 近年、様々なテレビ番組で亀岡が取上げられることが増えた。取組んでいるシティプロモーションの核となるのではないか。</p>	<p>市長 所管部長</p>	
18	<p>酒井安紀子 6月15日(木) 14:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 スタジアムが市民生活に及ぼす影響について</p> <p>2 補助金の透明性確保について</p> <p>3 負担金の見直しについて</p>	<p>京都スタジアム（仮称）のための追加投資を行う前に、亀岡市として、その効果や市民生活に及ぼす影響と対策を明らかにしておかなければならない。</p> <p>(1) 20億円の追加に見合うだけの効果があると判断した根拠は。</p> <p>(2) 交通渋滞についての影響と対策は。</p> <p>(3) 今後のまちづくりに及ぼす影響をどのように考えているのか。</p> <p>平成28年度は補助金の一律カットが行われ、平成29年度は、さらに根本的な見直しを行っていくとのことであった。</p> <p>(1) どのように見直しを行ったのか。</p> <p>(2) 見直しの結果は。</p> <p>(3) 透明性の確保についてどのような取組みを行っているのか。</p> <p>(1) 負担金は現在何件あるか。</p> <p>(2) 総額はいくらか。</p> <p>(3) そのうち加入が法令で義務付けられている協議会等に関する負担金の件数と合計金額は。</p> <p>(4) 基準を設けて整理すべきではないか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>